



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No.1699 定価
15円

2008年
6月5日

国労加入を
大胆に訴えよう

5・1

上野支部・田端駅で
阿部浩樹さん(20才)が国労加入

JR東労組から

が国労加入

五月二八日、JR東労組を脱退し今月一日付けで国労に加入した阿部浩樹さん(20才)の歓迎会が、上野支部主催により都内で開催された。

支部・鈴木書記長の司会で始まり、玉之内委員長は「若い仲間を迎える事ができてうれしい。分会の皆さん御苦勞様。こうし



た取り組みを上げ、働く条件を少しでも良くしたい」と歓迎と激励の挨拶をした。続いて、田端駅分会・櫻村分会長の挨拶、藤本さんから加入した経過の報告を受けた。

歓迎会には満面の笑みをした、本部から濱中書記長と岩元青年部長、東日本本部から松井副委員長・高野書記長・木村青年部長・彦田青年部常任委員、東京地本から松川書記長・宮崎組織部長ら各級機関役員も参加し「困った時はワイワイ相談して」「出身支

部での拡大、非常にうれしい」「他地本でも若い人の加入が続いている」など、激励のメールをなごやかに送った。

最後に、阿部さん本人から「強制的なやり方をするJR東労組に不満を持ちながら働いていたが、国労の仲間を誘われ加入した。組織拡大と一緒に取組んで行きたい」と力強い決意表明を受けた。

有楽町駅・大原さんの

国労加入歓迎会開く

四月九日付けで、JR東労組を脱退し国労に加入した有楽町駅・大原真太郎さん(20才)の歓迎会が都内で開催された。

主催者の有楽町駅分会・加藤分会長は「大原君が加入して、分会の組合員が元気になった。これから共に国労の組織拡大と労働条件改善に向けて歩んでほしい」と挨拶した。

来賓の地本・中沢執行委員は「組織対策プロジェクトで職場に足を運んでいるが、職場から拡大の報告や拡大に向けた取り組みが続々寄せられている」と報告した。新橋支部・山田委員長は「分会の仲の良さ、雰囲気の良い成果。ここなら国労にとうとう安心感がある」と日常活動と国労本来の人間味のある取り組みの成果を強調した。最後に大原君本人から「自分も組織拡大

連載企画 分会紹介 横浜電力技術センター分会

首都圏輸送障害に
今後問題提起する



横浜電力技術センター分会は、七年前の「設備部門におけるメンテナンス体制の再構築」合理化により五電力区が統合され発足した。分会は、横浜支社内(神奈川県全県と静岡県

の熱海から伊東まで)すべての電車線・電灯・変電業務を担当する技術センター及び五つのメンテナンスセンターに所属する組合員四一名とパートナー会社への出向組合員二名の計四三名で構成している。

分会組合員の居住地は、東京・神奈川・埼玉・千葉・静岡という広範囲にわたり、このような通勤事情から組合員の結集に苦勞しながらも、分会大会を始め、年二回の分会集会の開催、毎月の執行委員会と月一回の分会情報の発行、他労組組合員も参加する花見やバーベキューなどの分会レクを開催し分会活動の活性化を図り、機関の集いや行動にも参加するよう働きかけている。バツジ事件の和解以降も、職名の逆転現象や研修に入れないなど、職場の不公平感がぬぐいきれていないが、国労組合員としての誇り(しがらみ?)をもち、差別を放置させないよう

に頑張っている。昨今の首都圏輸送障害の多発は、横浜電力技術センター管内でも昨年の根岸駅トロッコ線断線事故でラッシュ時間帯に三時間も影響を及ぼすなど、メンテナンス体制の矛盾が次々と現れている。諸先輩方の退職と急激な平成採用者の増加が技術力の低下に拍車をかけ、安全・安定輸送をゆるがす原因となっている。今後とも分会として会社に対して問題提起をしていきたいと考えている。

組織の拡大については、毎年退職者が出るという現状のなかで、組合員の減少に歯止めをかけようと役員中心に若い人への働きかけを行っているが、なかなか結果が出ていない。早く結果が示せるよう今後も頑張る。



大原真太郎さん 国労加入歓迎会
国労有楽町駅分会

大原さんは前列中央

采の問 書記の異動

東京地本で総務部・調査部を担当していただいた寺崎幸子さんが四月三〇日をもって退職されました。寺崎さんは宇都宮支部で永年働いて来られましたが、書記配置の見直しにより前半前に東京地本に来られました。長い間、大変御苦勞様でした。

寺崎さんの退職に伴い、四月一日から、国鉄闘争支援中央共闘会議で働いていた井口栄子さんが総務部・調査部を担当していただくことになりました。皆さん宜しくお願いします。写真はありますが、顔が見たい人は東京地本に来て下さい。また、永年に亘り法対部で働いて来られた、福原三江子さんが、五月一日付けで国労本部へ転動となりました。引き続き宜しくお願いします。

日国鉄・JRアスベスト 採用差別横浜人活訴訟 裁判開かれる

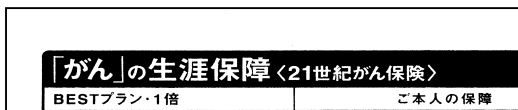
五月八日、横浜地方裁判所で、一三時三〇分から「旧国鉄・JRアスベスト」裁判、一六時三〇分から「採用差別横浜人活訴訟」の裁判が開かれた。

午前中、神奈川県川地区本部はアスベスト支援者・闘争団員と共に、JR 関内駅頭でピラマキ宣伝行動を取り組み、裁判への支援を呼びかけた。「アスベスト裁判」での証人尋問、「採用差別横浜人活訴訟」も行われることもあり、傍聴券配布時には一三〇名以上の支援者が並び、熱気あふれる裁判傍聴となった。「アスベスト裁判」終了後、横浜弁護士会館で報告

集会を開催した。集会では、古川弁護士から「裁判の最後にブレイキホースをつなぐ時の距離を裁判官が聞いた。これは間接曝露になる判断をしたと見ていいのでは」という報告がされ、証人の稲垣さん・小林綾子さんから感想をいただき、次回証人として法廷に立つ大前麻衣さんから決意表明を受けた。

「採用差別横浜人活訴訟」については、国労本部小池執行委員・西日本本部大西副委員長も加わる共同報告集会となり、弁護士からの報告、支援団体・各単産代表者・闘争団から連帯の挨拶、当事者三名から決意表明を受けた。今回の裁判傍聴には、延べ二〇〇名以上の参加者があり、迫力ある傍聴・支援体制が確立できた。

アスベスト裁判は、六月一七日の証人尋問を受け、年内には判決が出る予定。採用差別横浜人活訴訟は、証人として神奈川県川地区本部前委員長長の久保澤さん、横浜人活裁判で無罪判決を勝ち取った遊佐さんを申請し、これからの正念場となる。



五月八日、横浜地方裁判所で開かれた「採用差別横浜人活訴訟」の裁判の様子。

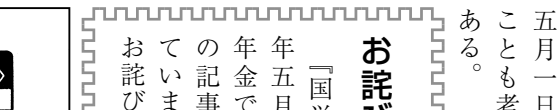


5月1日 第七九回日比谷メーデー開催

第七九回日比谷メーデーが、日比谷野外音楽堂をメイン会場にして開催された。例年に違わず晴天に恵まれ、昨年よりも多くの参加があり、盛り上がりを見せた。議長団選出の後、主催者を代表して、国労東京・石上委員長が挨拶を行い「①日比谷メーデーが二〇周年を迎えた、②八春闘をめぐり、労働分配率の五年連続低下と年金・医療・税制改悪に伴う労働者

の負担増、非正規労働者などの格差問題が顕著になり、連帯して闘う、③二二年目に入ったJR不採用事件は政治的解決気運が高まり、自治体決議も国民の過半数となった。JR内の争議も西日本・東海・東日本に続き、三月には貨物も一括和解した。雇用・年金・解決金を勝ち取るためにも五月・六月大衆行動への尽力を。④反戦平和と民主主義を守る闘いに全力を上げ、憲法改悪を許さない取り組みを。⑤後期高齢者医療制度は『年寄り死ね』政策だ。福祉や年金・医療など、戦後の成長を支えてきた先輩のためにも共に頑張ろう』などと訴えた。

次に、連帯挨拶が都労連・増淵委員長から、来賓挨拶が佐藤・東京都産業労働局長と福島・社会民主党党首らから行われ、メッセージ披露の後、決意表明が小野・国労闘争団事務局次長らから行われ、二コー



五月二六日、第一七回へら鮎釣り大会が武蔵の池で開催された。

初夏のレクリエーション 青年部・青対部

去る五月一〇日地本青年部は青年対策委員会と合同で、初夏のレクリエーションとしてパーベキューを企画した。例年この時期の気候は比較的安定し天候には恵まれていたが、どうしてこの日を選んだのかYさん！仲間からは「やるねえー?!」「そうです、なんと雨になってしまいました。残念ながら会場をボウリング場へと変更し、少しばかりテンションは下がりみだつたが、青年部長の挨拶を皮切りにプレイボール！またまたやってくれますYさん！ストライクを出すもののディスプレイには「ファール!」、次もストライク:「ファール!」Kさんをはじめ他人の不幸のディスプレイを指で指しながら大口を

五月二六日、第一七回へら鮎釣り大会が武蔵の池で開催された。久々に好天に恵まれ、釣果も上がり、以下の結果となった。

- 【結果】
優勝 齊藤万輝男 上野・隅田川駅OB
準優勝 中村 寛 上野・松戸車両セ
第三位 齊藤 孝一 上野・松戸車両セ

「がん」の生涯保障<21世紀がん保険>

ご本人の保障	
BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	100万円 <small>←一時金として がんの場合 上皮内新生物の場合</small>
入院したとき	10,000円 <small>安心の無制限</small>
手術を受けたとき	20万円 <small>1回につき</small>
高度先進医療を受けたとき	6~140万円 <small>技術料に応じて</small>
通院したとき	5,000円 <small>1日につき</small>
がんで死亡したとき	10万円

・保険期間:終身・契約年齢:満3歳~満80歳・解約払戻金0コース
〈引受保険会社〉
自信があります。私の医療保険。
AFLAC アメリカンファミリー生命
東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障<特約MAX21終身タイプ>

ご本人の保障[本人型]	
病気やケガで入院したとき	1日につき 5,000円 <small>(1日目から)</small>
ケガで入院したとき	1回につき(手術の種類により) 5・10・20万円 <small>がんを含む病気・ケガで 所定の手術を受けたとき</small>

・保険期間:終身(ケガの保障は90歳までとなります)・疾病・災害入院給付金日額5千円
・契約年齢:満3歳~満80歳(本人型)・1回の入院については124日まで保障 ※日帰り入院(1日入院)とは、入院日=退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうか判定されます。
◎詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約款をご覧ください。
■募集代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F
AFN広告-2003-015-0402051 2月21日

お詫びと訂正

『国労東京』No.一六九八(二〇〇八年五月五日発行)一面「エルダー・年金で学習会(国労東京労働講座)」の記事中、開催日が四月八日となつていますが、四月五日の間違いです。お詫びして訂正いたします。